

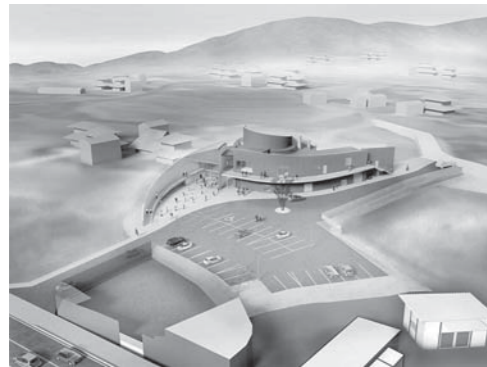
# 令和2年度の主な事業

令和2年度は、「熊野町災害復興計画」を踏まえた各種取組に対して、優先的に予算を配分し、町民が安心して暮らし続けることができるとともに、誰もが住んでみたいと思える町への復興に取り組めます。  
固財務課 ☎820-5632

## ■ 復旧・復興、災害対応力の強化

### 東部地域防災センター(仮称)整備 2,823万円

東部地域の新たな防災拠点施設として、東部地域防災センター(仮称)を整備します。



### 防災空地の整備(大原ハイツ) 3,500万円

平成30年7月豪雨により大きな被害が発生した大原ハイツ内に、犠牲者への追悼の場および後世への伝承の場として、防災空地を整備します。

### 避難路の整備 9,443万円

災害による被災を回避するために、避難所まで安全に避難できる道路を整備します。

### 防災行政無線デジタル化 2億2,360万円



防災行政無線のデジタル化整備工事が令和3年2月に完了します。この整備に合わせ、登録制メールや防災アプリなど様々なメディアを活用した情報伝達手段を確保し、避難勧告などの緊急情報を確実に伝達できるシステムを構築します。

### 被災誌の作成 330万円

平成30年7月豪雨による被害を風化させることなく、後世へ伝承するため、被災誌を作成します。

### 公共土木施設の復旧 3億2,112万円

平成30年7月豪雨により被災した河川や道路などの公共土木施設の復旧工事について、引き続き推進し、令和2年度末までに完成させるよう取り組みます。

### 「地域支え合いセンター」活動 95万円

被災者の総合的な支援を行う「地域支え合いセンター」活動を引き続き行い、見守り・巡回訪問など、被災者の方に寄り添いながら、生活の再建と自立の支援に取り組めます。

### ゆるぎ観音付近の再整備 1,456万円

ひろしまの森づくり事業交付金を活用し、平成30年7月豪雨により被災したゆるぎ観音付近の森林を地元と一体となって3年計画(2年目)で再整備します。

## ■ まちづくり

### 熊野町総合計画の策定 756万円

令和2年度に第5次熊野町総合計画の計画期間が終了することに伴い、令和3年度を初年度とする第6次熊野町総合計画を策定します。

### 都市計画マスタープランの策定 887万円

町の総合計画を踏まえ、令和3年度以降の町の将来像や土地利用などの基本方針を明らかにした、まちづくりの指針となる都市計画マスタープランを策定します。

## ■ 子育て支援、教育環境整備

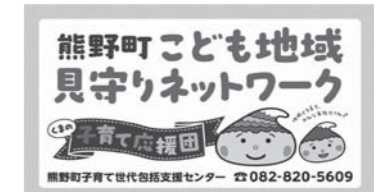
### くまの版ネウボラ相談支援拠点(くまの・こども夢プラザ) 1,528万円



保健師などの専門職を配置し、子育て家庭が安心して子どもを育てることができるよう体制を強化します。

### 次世代育成の支援 403万円

「こども地域見守りネットワーク事業」の普及啓発を図るため、継続して事業を実施します。また、新たに母子健康手帳アプリを導入し、必要な人に必要なタイミングで情報を提供します。



### 小中学校の体育館、町民体育館アリーナの照明をLED化 3,544万円

## ■ 定住支援

### 子育て世代「住むならくまの」応援事業 1,500万円

若年層の定住を促進し、人口の維持・地域の活性化を図るため、住宅の新築又は中古住宅の購入に対する支援措置として助成金を交付します。

## ■ 町道整備

### 町道深原公園線(鞆ノ河内工区)の新設 3,520万円

新設される県道瀬野呉線バイパスから深原地区準工業地域へのアクセス道路を整備します。

## ■ 保健衛生

### 感染症対策 6,903万円

予防接種法に基づき予防接種を実施するとともに、新型コロナウイルスをはじめとする各種感染症に対する正しい知識の普及啓発に努めます。

## ■ 観光振興

### 筆の里工房周辺整備事業 8,932万円

地域資源を活かし、体験交流を中心とする「観光交流拠点」として公園整備を推進し、地域活力の向上を図ります。

